

2026年7月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月11日
東

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所
コード番号 5572 URL <http://ridge-i.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳原 尚史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03(4214)8558
定時株主総会開催予定日 2026年10月27日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年10月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期の連結業績(2025年8月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期	2,993	15.4	547	93.3	556	91.2	407	191.9
2025年7月期	2,593	—	283	—	290	—	139	—

(注) 包括利益 2026年7月期 426百万円(126.6%) 2025年7月期 188百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年7月期	95.93	93.91	13.8	15.2	18.3
2025年7月期	36.00	34.87	6.5	9.9	10.9

(参考) 持分法投資損益 2026年7月期 ー百万円 2025年7月期 ー百万円

※2024年7月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年7月期の対前期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期	4,484	3,720	82.5	856.99
2025年7月期	2,846	2,458	77.0	560.33

(参考) 自己資本 2026年7月期 3,699百万円 2025年7月期 2,190百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年7月期	562	△1,071	998	2,317
2025年7月期	51	△53	△286	1,827

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年7月期の連結業績予想(2026年8月1日～2027年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	39.1	315	85.6	315	87.1	225	114.2	52.14
通期	3,200	6.9	630	15.1	630	13.3	450	10.4	104.28

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

創研情報株式会社、SK
新規 2社 (社名) コラボレーション株式、除外 1社 (社名) 株式会社スターミュージック・エンタテインメント
会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年7月期	4,317,440株	2025年7月期	3,909,880株
2026年7月期	76株	2025年7月期	76株
2026年7月期	4,248,517株	2025年7月期	3,878,057株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年7月期の個別業績 (2025年8月1日~2026年7月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期	1,811	41.5	515	218.7	516	216.7	357	208.2
2025年7月期	1,280	19.4	161	5.9	163	6.6	116	△4.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期	84.26	82.46
2025年7月期	29.95	29.01

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期	4,146	3,728	89.4	858.68
2025年7月期	2,470	2,291	92.4	584.15

(参考) 自己資本 2026年7月期 3,707百万円 2025年7月期 2,283百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2026年9月18日 (金) に機関投資家及びアナリスト向け説明会 (オンライン説明会) を開催する予定です。当日の説明会資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年8月1日から2026年7月31日）における我が国の経済環境は、雇用環境の改善が進むなど緩やかな回復傾向が見られ、このような中、生成AI技術への注目の高まりにより、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたDX関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。ただし、円安による輸入コストの上昇や、物価・賃金コストの上昇など、依然として、経済全体としての外部リスク要因は継続しています。

当社は「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、カスタムAIソリューション事業として顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションの提案から実装までを行っており、特に直近では生成AI関連のニーズが増加しております。また、AI技術と親和性の高いデジタルマーケティング事業において、SNS広告のプランニングから制作までとプラットフォームの配信や広告等で利用される音楽制作を展開してまいりました。

2025年9月には、SBIホールディングス株式会社との資本業務提携、第三者割当増資による新株式の発行を行いSBIホールディングス株式会社の関連会社となっております。この資本業務提携に基づき金融データや企業ネットワークを使った各種施策を進めており、2026年3月には4億円規模の大型AI関連プロジェクトを受注しております。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、既存顧客からのAIプロジェクトの継続、特に生成AIテーマ案件増加に加えて、2026年3月に受注した大型のSBIグループ案件の多くが売上計上となった結果、2,993,819千円（前期比15.4%増）となり、売上総利益については、1,646,933千円（前期比24.2%増）となりました。

営業利益については、上記のとおり売上高の増加に伴い、547,164千円（前期比93.3%増）となりました。なお、販売費及び一般管理費は外注利用、積極的な採用活動や生成AI等の新しい技術に対応するために研究開発等を継続しておりますが、粗利率の高いカスタムAIソリューション事業において売上高の増加が費用増加を大幅に上回っており、営業利益率は18.3%で想定より高い水準となっております。

経常利益については、営業利益の増加により556,223千円（前期比91.2%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等220,863千円及び子会社の株主持分が67.0%のため非支配株主に帰属する当期純利益18,820千円により、407,549千円（前期比191.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①カスタムAIソリューション事業

カスタムAIソリューション事業におきましては、売上高が1,811,723千円（前期比41.5%増）、セグメント利益が506,743千円（前期比213.3%増）となり、そのサービス別では、前期から継続している大手企業の顧客を中心にしたAIプロジェクトの継続に加えてSBIグループからの大型受注があったことによりAI活用コンサルティング・AI開発の売上高は1,452,805千円と増収となり、また既存顧客の案件拡大、特に生成AI関連案件は大型かつ期間の比較的長いプロジェクトが多く大幅な増益に貢献しています。衛星関連プロジェクトは予定通り大型案件が2025年3月で完了し保守運用フェーズへ移行したことにより売上減少となり人工衛星AI解析の売上高は166,576千円となりました。AI保守運用については大型の保守運用が継続かつ2026年3月からさらに拡大しており売上高は192,342千円となりました。

②デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業におきましては、売上高が1,182,095千円（前期比10.0%減）、セグメント利益が40,420千円（前期比66.7%減）となり、そのサービス別の売上高は、大手企業からの広告制作や運用などが増加した一方でプラットフォームからの受注が減少しソーシャルメディアマーケティングの売上高は811,237千円、保有する楽曲からの権利収入が増加し音楽制作配信サービスの売上高は370,858千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は4,090,484千円となり、前連結会計年度末に比べ1,784,315千円増加いたしました。これは主に、2025年9月の第三者割当増資及び業績好調による営業キャッシュ・フローの増加等により現金及び預金が1,730,687千円増加したことによるものであります。また、当連結会計年度末における固定資産は394,125千円となり、前連結会計年度末に比べ146,024千円減少いたしました。これは主に子会社売却によるのれん計上額の減少などにより無形固定資産が182,052千円減少したことによるものであります。この結果、総資産は4,484,609千円となり、前連結会計年度末に比べ1,638,290千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は581,966千円となり、前連結会計年度末に比べ212,082千円増加いたしました。これは主に業績好調により未払法人税等が97,124千円増加したことによるものであります。また、当連結会計年度末における固定負債は181,687千円となり、前連結会計年度末に比べ164,033千円増加いたしました。これは買収した子会社における社債50,000千円や退職給付に係る負債60,455千円等が増加したことによるものであります。この結果、負債合計は763,654千円となり、前連結会計年度末に比べ376,116千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,720,954千円となり、前連結会計年度末に比べ1,262,174千円増加いたしました。これは主に、第三者割当増資等による資本剰余金の増加1,127,478千円及び親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が407,549千円増加しましたが、一方で子会社の売却により非支配株主持分が260,595千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から489,295千円増加し、2,317,122千円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は562,008千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益647,233千円及び案件増加に伴う外注費用増加により仕入債務が72,816千円増加していることで資金増加があった一方、売上債権及び契約資産の増加143,247千円及び法人税等の支払額122,644千円等があったことによる資金減少の影響によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,071,039千円となりました。これは主に、手許現金を定期預金へ預入1,200,000千円を行ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は998,259千円となりました。これは主に、第三者割当増資等の株式発行による収入1,058,259千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2027年7月期につきましては、カスタムAIソリューション事業の需要を獲得すべく積極的な事業展開を続けるとともに、組織強化と人材増強に努めてまいります。カスタムAIソリューション事業におけるコンサル開発サービスは、既存企業プロジェクトの継続と大型案件の獲得に注力すること、また、引き続き需要の多い生成AIのサービスの売上増加を目指します。当社子会社の状況については、株式会社スターミュージック・エンタテインメントが2026年7月に株式売却手続きが完了したことにより当社連結対象から外れデジタルマーケティング事業がなくなります。2026年5月に子会社化した創研情報株式会社が年間を通して当社連結対象に加わります。

以上を踏まえ、当社の2027年7月期通期の連結業績予想につきましては、売上高3,200百万円（前期比6.9%増）、営業利益630百万円（前期比15.1%増）、経常利益630百万円（前期比13.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円（前期比10.4%増）を見込んでおります。

業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と大きく異なる可能性があることを予めご承知ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当連結会計年度 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,827,826	3,558,513
売掛金及び契約資産	405,196	484,440
前払費用	32,829	37,048
その他	40,315	11,081
貸倒引当金	—	△600
流動資産合計	2,306,169	4,090,484
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	33,209	26,947
工具、器具及び備品（純額）	30,627	25,867
有形固定資産合計	63,837	52,815
無形固定資産		
ソフトウェア	15,497	945
のれん	299,804	141,411
その他	9,105	—
無形固定資産合計	324,408	142,356
投資その他の資産		
長期預金	—	20,180
敷金及び保証金	52,060	56,873
繰延税金資産	47,426	73,942
その他	52,417	47,957
投資その他の資産合計	151,904	198,953
固定資産合計	540,149	394,125
資産合計	2,846,318	4,484,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当連結会計年度 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,903	124,448
1年内償還予定の社債	—	40,000
未払金	54,217	91,665
未払法人税等	61,339	158,464
契約負債	38	5,535
賞与引当金	13,155	10,809
役員賞与引当金	7,150	13,700
その他	56,079	137,344
流動負債合計	369,883	581,966
固定負債		
社債	—	50,000
長期未払金	—	52,794
退職給付に係る負債	—	60,455
資産除去債務	17,654	18,438
固定負債合計	17,654	181,687
負債合計	387,538	763,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,392	12,528
資本剰余金	1,857,145	2,984,623
利益剰余金	295,425	702,974
自己株式	△194	△194
株主資本合計	2,190,769	3,699,932
新株予約権	7,416	21,022
非支配株主持分	260,595	—
純資産合計	2,458,780	3,720,954
負債純資産合計	2,846,318	4,484,609

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
売上高	2,593,322	2,993,819
売上原価	1,267,363	1,346,885
売上総利益	1,325,959	1,646,933
販売費及び一般管理費	1,042,821	1,099,769
営業利益	283,137	547,164
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,175	9,816
助成金収入	6,310	4,400
受取遅延損害金	1,070	—
その他	1,239	1,582
営業外収益合計	9,795	15,798
営業外費用		
支払利息	454	—
株式交付費	—	6,740
固定資産除売却損	1,513	—
その他	119	—
営業外費用合計	2,086	6,740
経常利益	290,846	556,223
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	2,601
関係会社株式売却益	—	88,408
特別利益合計	—	91,010
税金等調整前当期純利益	290,846	647,233
法人税、住民税及び事業税	132,262	245,845
法人税等調整額	△29,540	△24,982
法人税等合計	102,722	220,863
当期純利益	188,124	426,369
非支配株主に帰属する当期純利益	48,496	18,820
親会社株主に帰属する当期純利益	139,627	407,549

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2024年 8 月 1 日 至 2025年 7 月31日)	当連結会計年度 (自 2025年 8 月 1 日 至 2026年 7 月31日)
当期純利益	188, 124	426, 369
包括利益	188, 124	426, 369
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	139, 627	407, 549
非支配株主に係る包括利益	48, 496	18, 820

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,465	1,945,140	155,797	△1	2,122,401
当期変動額					
新株の発行	16,927	16,927			33,854
資本金から剰余金への振替					—
親会社株主に帰属する当期純利益			139,627		139,627
自己株式の取得				△192	△192
連結子会社株式の取得による持分の増減		△104,921			△104,921
連結子会社株式の売却による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	16,927	△87,994	139,627	△192	68,367
当期末残高	38,392	1,857,145	295,425	△194	2,190,769

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1,590	316,336	2,440,328
当期変動額			
新株の発行			33,854
資本金から剰余金への振替			—
親会社株主に帰属する当期純利益			139,627
自己株式の取得			△192
連結子会社株式の取得による持分の増減			△104,921
連結子会社株式の売却による持分の増減			—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,825	△55,741	△49,915
当期変動額合計	5,825	△55,741	18,452
当期末残高	7,416	260,595	2,458,780

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	38,392	1,857,145	295,425	△194	2,190,769
当期変動額					
新株の発行	532,655	532,655			1,065,310
資本金から剰余金への振替	△558,519	558,519			—
親会社株主に帰属する当期純利益			407,549		407,549
自己株式の取得					—
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
連結子会社株式の売却による持分の増減		36,302			36,302
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△25,864	1,127,478	407,549	—	1,509,163
当期末残高	12,528	2,984,623	702,974	△194	3,699,932

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	7,416	260,595	2,458,780
当期変動額			
新株の発行			1,065,310
資本金から剰余金への振替			—
親会社株主に帰属する当期純利益			407,549
自己株式の取得			—
連結子会社株式の取得による持分の増減			—
連結子会社株式の売却による持分の増減			36,302
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,606	△260,595	△246,989
当期変動額合計	13,606	△260,595	1,262,174
当期末残高	21,022	—	3,720,954

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	290,846	647,233
減価償却費	51,403	29,266
資産除去債務戻入益	—	△2,601
のれん償却額	33,311	33,311
受取利息及び受取配当金	△1,175	△9,816
支払利息	454	—
株式報酬費用	5,825	21,909
固定資産除売却損益 (△は益)	1,513	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△88,408
助成金収入	△6,310	△4,400
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△119,700	△143,247
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,838	72,816
未払金の増減額 (△は減少)	△30,716	34,744
契約負債の増減額 (△は減少)	△122,137	8,170
その他	12,805	51,508
小計	133,960	650,486
利息及び配当金の受取額	1,175	4,766
利息の支払額	△528	—
助成金の受取額	6,310	29,400
法人税等の支払額	△89,594	△122,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,323	562,008
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,697	△10,458
有形固定資産の売却による収入	6,294	—
無形固定資産の取得による支出	△14,757	△3,551
定期預金の預入による支出	—	△1,200,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	※2 △29,083
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	※3 180,614
敷金及び保証金の回収による収入	1,814	—
その他	△2,796	△8,561
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,143	△1,071,039
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△95,343	△60,000
株式の発行による収入	18,372	1,058,259
自己株式の取得による支出	△192	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△209,160	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286,323	998,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△288,210	489,295
現金及び現金同等物の期首残高	2,116,037	1,827,826
現金及び現金同等物の期末残高	※1 1,827,826	※1 2,317,122

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
現金及び預金	1,827,826千円	3,558,513千円
預入期間が3か月を超える 定期預金及び定期積金	一千円	△1,241,391千円
現金及び現金同等物	1,827,826千円	2,317,122千円

※2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

株式の取得により新たにSKコラボレーション株式会社及び創研情報株式会社を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びにSKコラボレーション株式会社及び創研情報株式会社株式の取得価額とSKコラボレーション株式会社及び創研情報株式会社取得のための支出(純額)との関係は次のとおりであります。

流動資産	344,100 千円
固定資産	124,253
のれん	141,685
流動負債	△227,053
固定負債	△182,986
株式の取得価額	200,000
現金及び現金同等物	△170,916
差引:取得のための支出	29,083

※3 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

株式の売却により、スターミュージック・エンタテインメント株式会社が連結子会社でなくなったことに伴う売却時の資産及び負債の内訳並びにスターミュージック・エンタテインメント株式会社株式の売却価額と売却による収入(純額)との関係は次のとおりであります。

流動資産	958,317 千円
固定資産	108,281
のれん	266,493
流動負債	△217,179
固定負債	△3,223
新株予約権	△102
非支配株主持分	△279,415
株式の売却益	88,408
株式の売却価額	921,580
現金及び現金同等物	△740,965
差引:売却による収入	180,614

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「カスタムAIソリューション事業」、「デジタルマーケティング事業」の2事業を報告セグメントとしております。

・カスタムAIソリューション事業

「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションを提案し、実装することを目指す事業が対象となります。

・デジタルマーケティング事業

主要な動画配信プラットフォーム企業と提携し、企業向けマーケティングコンサルティングとクリエイターネットワークを活用した高品質かつ迅速な広告事業、及び独自の原盤配信ビジネスや著作権ビジネスを行う音楽レーベル機能に加え、プラットフォームへの楽曲提供、企業向け広告の楽曲制作を手掛けている事業が対象となります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,280,324	1,312,998	2,593,322	—	2,593,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,280,324	1,312,998	2,593,322	—	2,593,322
セグメント利益	161,725	121,412	283,137	—	283,137
セグメント資産	1,549,507	1,296,811	2,846,318	—	2,846,318
その他の項目					
減価償却費	42,268	9,134	51,403	—	51,403
のれんの償却額	—	33,311	33,311	—	33,311
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	5,865	15,406	21,272	—	21,272

(注) セグメント利益は、連結財務諸表計上額の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,811,723	1,182,095	2,993,819	—	2,993,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,811,723	1,182,095	2,993,819	—	2,993,819
セグメント利益	506,743	40,420	547,164	—	547,164
セグメント資産	4,484,609	—	4,484,609	—	4,484,609
その他の項目					
減価償却費	16,115	13,151	29,266	—	29,266
のれんの償却額	—	33,311	33,311	—	33,311
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	9,088	4,920	14,009	—	14,009

(注) セグメント利益は、連結財務諸表計上額の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
1株当たり純資産額	560.33円	856.99円
1株当たり当期純利益	36.00円	95.93円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	34.87円	93.91円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	139,627	407,549
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	139,627	407,549
普通株式の期中平均株式数(株)	3,878,057	4,248,517
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	126,145	91,447
(うち新株予約権(株))	(126,145)	(91,447)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年7月31日)	当連結会計年度末 (2026年7月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,458,780	3,720,954
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	268,011	21,022
(うち新株予約権(千円))	(7,416)	(21,022)
(うち非支配株主持分(千円))	(260,595)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,190,769	3,699,932
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	3,909,804	4,317,364

(重要な後発事象)

該当事項はありません。